

教科	国語科	単元名	走れ
----	-----	-----	----

本時のねらい

・物語の山場を確認して、山場で中心人物の心情がどのように変化したかを考え、考えたことを交流する。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

(活用方法) ・ロイロノートのシンキングツール「プロット図」を活用する。
 (ねらい) ・ロイロノートを活用して、はじめ→中→クライマックス→終わりと場面分けを整理する。
 ・クライマックスの場面で、中心人物の心情が読み取れる文を整理して、山場を見つける。

本時で育む主な情報活用能力

C-STEP 2, D-STEP 2

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・大型提示装置
- ・ロイロノート
- ・シンキングツール

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような場面がいくつあったか、ふり返る。 ・それぞれの場面で、登場人物の気持ちが分かる文があったことを教科書の本文を読み直し、ふり返る。 ・場面を「はじめ→中→クライマックス→終わり」に整理する。 【写真1】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートのシンキングツール「プロット図」を活用する。 ・プロット図の中にテキストを作り、それぞれの場面の要約を打ち込んでいき、それを図の適切な場所に動かす。
展開 (25分)	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のめあてを確認する。 ➡「山場でどのような変化が起きたのか考えよう。」 ・クライマックスの場面で、中心人物の心情が読み取れる文を整理して、心情が変化しているところを見つける。 ・心情が変化している間に、どのような出来事があったのか、教科書で根拠となる文を確認し、山場を見つける。 【写真2】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートのシンキングツール「プロット図」を活用する。 ・プロット図の中に、教員が前時までに児童と一緒に確認した、中心人物の心情が読み取れる文をテキストで入力しておいて、それを児童が動かして考える。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・中心人物の変化が、なぜ起こったのかを考え、自分の考えを出す。 ・それぞれの自分の考えをクラス内で共有する。【写真3】 ・クラスのほかの人の考えを読んで、自分の考えと比べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートの提出箱に、自分の考えを打ち込んだものを提出して、それらの回答をクラスで共有する。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】ロイロノート「プロット図」場面分け



【写真2】ロイロノート「プロット図」第三場面



【写真3】ロイロノート「提出箱で回答共有」

児童生徒の反応や変容

- ・ノートに文を書いて心情を考えると苦手の児童も、画面上で文を動かして心情の変化を読み取ることは積極的に活動していた。
- ・ほかの児童の考えをすぐに共有できることで、自分の考えと比べて、ふりかえることを意欲的に行っていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・プロット図を活用することで、文章から場面の変化が捉えにくい児童にとっても、場面構成「はじめ→中→クライマックス→終わり」がわかりやすかった。
- ・書くことが苦手の児童も、テキストに打ち込むことに慣れてくると、書く時よりも積極的に文章が作成できるようになった。
- ・ロイロノートは考えを共有しやすいので、ほかの教科でも活用できると感じた。